

東海市の姉妹都市

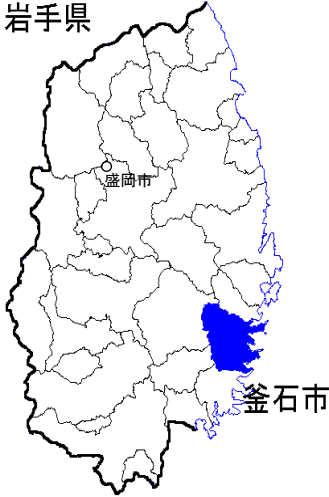


釜石市(岩手県)

KAMAISHI CITY

● 提携年月日 平成 19年3月24日

岩手県



Craft MAP

◎面積：約440km²
◎人口：約3万4千人

・釜石市の概要

釜石市は、岩手県の南東部、三陸復興国立公園のほぼ中心に位置し、世界三大漁業の一つ、三陸漁場と典型的なリアス式海岸を控え、また、近代製鉄発祥の地としての歴史を持ち、「鉄と魚とラグビーのまち」として発展してきました。

平成 23 年3月 11 日東日本大震災による津波で大きな被害を受けましたが、現在は、釜石市復興まちづくり計画「スクラムかまいし復興プラン」に基づき復旧復興を進めています。

平成 27 年 7 月には、釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界遺産に登録されました。また、岩手県と釜石市は 2019 年に日本で開催されるラグビーワールドカップの開催都市の一つにも選ばれました。

・提携までの経緯

昭和 39 年、釜石製鐵所から東海製鐵所へ従業員 745 人（家族を含め 2,279 人）が転勤。「民族の大移動」とも言われ、昭和 44 年までに約 1,700 人の従業員が転勤しました。

昭和 59 年、釜石市のバレーボールチームが東海市を訪問して行われたスポーツ交流を皮切りに、平成元年には東海市制 20 周年記念事業として産業まつりに釜石市を招き、平成 4 年には釜石市の「三陸・海の博覧会」へ出展するなど物産の交流も行われるようになりました。

平成 15 年、「災害時における相互応援に関する協定」を締結、平成 18 年にはトヨフジ海運(株)を加えた 3 者の間で「船舶による災害救助に必要な物資等の緊急輸送に関する協定」を締結。両市の絆が深まる中、平成 18 年 12 月に両市議会で、それぞれ姉妹都市提携議案が議決され、翌年 3 月 24 日に釜石市で姉妹都市提携の調印式が行われました。

